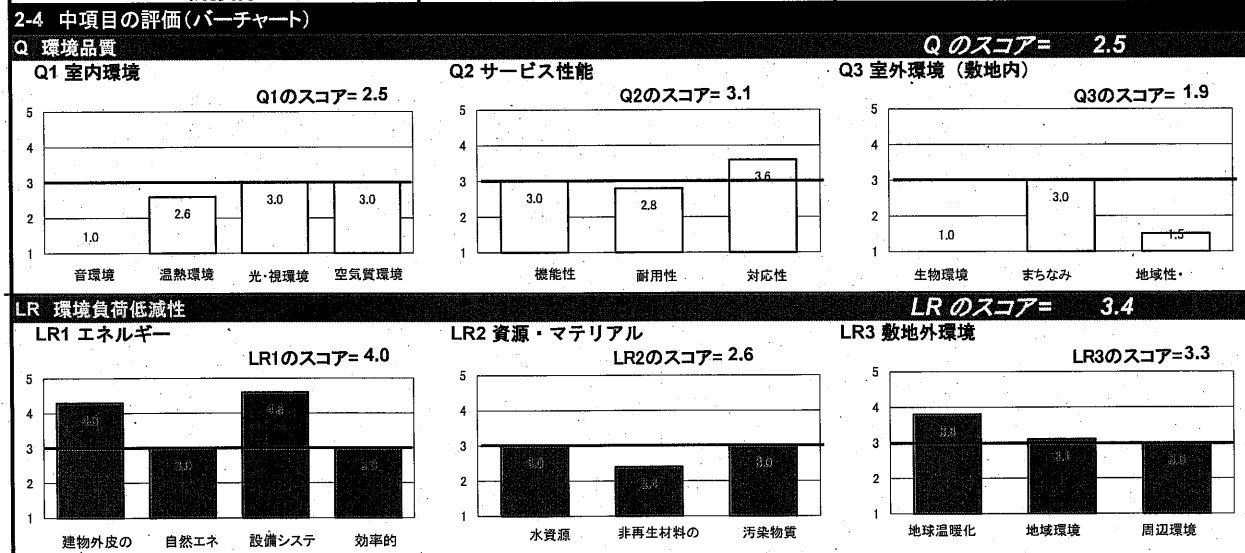
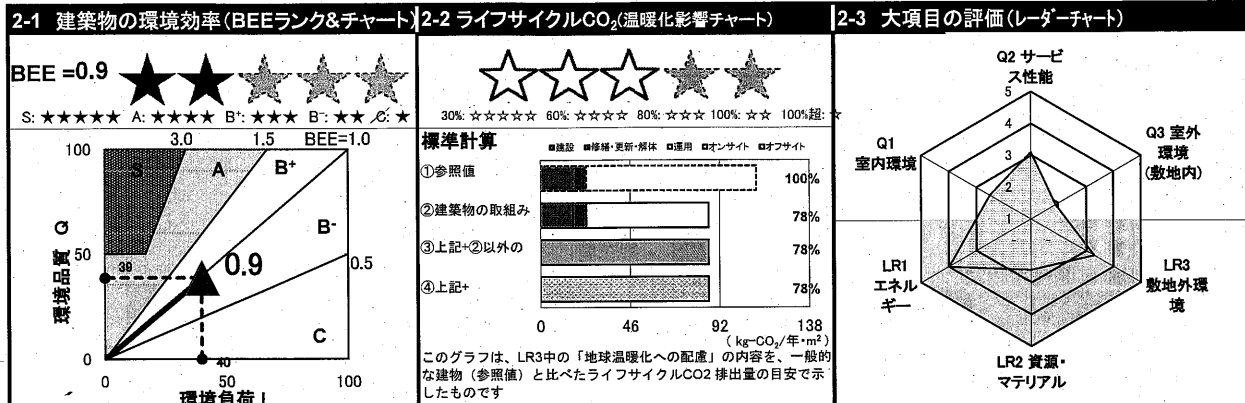


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コメリH&G京丹波店	階数	地上1F
建設地	京都府船井郡京丹波町須知居屋ノ	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	870 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2024年3月 竣工	評価の実施日	2024年6月13日
敷地面積	13,854 m ²	作成者	和田典久
建築面積	4,148 m ²	確認日	2024年6月13日
延床面積	4,205 m ²	確認者	新垣雄二

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
外観の色彩等をアースカラーを採用し、基本的な室外機等の機械設備を建物裏側に設置、その設備機器を外観から見えないように計画することで周辺環境への配慮を図りつつ、LED照明等の省エネ性能向上を図る設備機器の採用により、LCCO ₂ の排出率を抑える計画とした。		
Q1 室内環境 室内環境の快適性を考慮した空調設備計画と照明設備計画とした。	Q2 サービス性能 階高をゆとりのある高さとし、室内の快適性と室内環境の向上を図りつつ、壁長さ比率を小さく抑え、空間の自由度を高めた計画とした。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地境界沿いの緑化により、周辺環境への圧迫感を考慮した計画とした。
LR1 エネルギー 効率的な設備機器 (LED照明等) の選定により省エネを図る計画とした。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能な計画とした。	LR3 敷地外環境 建物の省エネ性能を高めて、ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑えた計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。